



奉仕の感動を分かち合おう。

愛と絆・心の奉仕『トンガ王国へ!』

世界社会奉仕委員長 園田 英次 (湖南RC)

RI2650地区・WCS (世界社会奉仕) は、「世界の子供たちへの平和と幸せ」を願って提唱しておりました「ポリオ根絶支援」は1995年から過去12年間、世界各国でポリオワクチン投与キャンペーン活動にかかわる様々な分野の医療支援活動を継続し援助してきました。

その活動の実績は、国際ロータリーを始め国連・世界保健機関 (WHO)、アジア各国の政府・保険機関から注目され、援助対象国の期待は計り知れないものであります。

世界のポリオと感染症の現状

1988年、ポリオ発生国は125ヶ国以上の常在流行国があり、この年のポリオ発生件数は実に350,000件発生しておりました。世界中に蔓延しておりましたポリオは国連機関、各国政府保健機関、国際ロータリーなどの支援による高い定期予防接種の維持によって、2005年の常在流行国は16ヶ国まで減少し、ポリオ発生件数も1,948症例と大幅な減少となりました。

しかし、常在流行国から持込まれる輸入株によるポリオ疾患が新たな問題となり、昨年大流行したインドネシアをはじめ、流行国に隣接する予防接種率の低い発展途上国のポリオワクチン追加免疫投与支援が大きな課題となっているのが現実であります。

また感染症 (結核、破傷風、デング熱、エイズ、B型肝炎、麻疹、風疹など) は、高熱や下痢症による肺炎・気管支炎などの合併症による疾病で命を失っている世界の子供たちは、年間推定死亡者数は1,470万人と報告されています。その犠牲者の大半が発展途上国の貧困者や乳幼児に集中しています。

感染症による死者が途上国に集中する要因は、貧困による不十分な食料、不衛生な水、教育の遅れ、不公平な医療サービス、劣悪な医療環境が大きな要因となっています。また、民族紛争・戦争や地球規模の環境破壊、交通網の発達によるヒトやモノの大量輸送移動なども絡み合っています現状を把握し、RI2650地区・WCS委員会は国際医療支援を策定し実践展開を図ってまいりました。

RI2650地区・WCS国際支援事業の策定

世界のポリオの現状と感染症の現実を見極め、本年度のRI2650地区・WCSは発展途上国の抱える問題の医療環境設備改善事業や公衆衛生・教育環境改善事業とポリオ根絶を

中心とした感染症予防接種支援活動を提唱した『感染症予防対策プロジェクト』事業をWHO (WPRO=西太平洋地域事務局) と共同で策定させていただきました。

感染症・予防接種医療支援事業

医療環境改善活性化事業

公衆衛生改善事業

この支援事業が南太平洋に浮かぶ離島への課題である主旨を、多くのロータリアンに理解され、地区・WCSが推進する医療・環境改善活性化支援活動の輪が更に大きく広がり、次代を担う世界の子供たちへ『愛と絆の奉仕』の手が差し伸べられることを切に希望いたします。

今年度の支援事業のため、2007年1月22日から1月29日の予定で「トンガ王国」へ行ってまいります。募集要綱はご案内の通りですが、締め切りは12月10日となっております。宜しくご支援の程お願いいたします。

募集要項

■期 間：平成19年1月22日(月)～29日(月) 8日間
(オークランド1日延泊の9日間プランもあります)

■旅行代金：お一人様 345,000円
ミッション費 30,000円
合計金額 375,000円

■定 員：50名(定員になり次第締め切らせて頂きます。)

■申込書送付先：
〒600-8235
京都市下京区東塩小路町533-6 大鉄京都ビル4階
日本旅行京都支店 担当 三 道 俊 宏 宛
TEL 075-361-7377
FAX 075-344-5658

■申込締切：平成18年12月10日(日) 必着

■説 明 会：平成18年12月23日(土)
お申込確認後、弊社より説明会案内書を送ります。

ポリオのない世界のための奉仕賞 [国際賞] 受賞

高橋 権也 氏 (宇治鳳凰RC)

於：第35回ロータリー・ゾーン研究会 (2006.11.25)



奉仕の感動を分かち合おう。



彦根南

彦根南

鯖江北

鯖江北



平城京

平城京

平城京

大津中央



奈良大宮

奈良大宮

栗東

栗東



京都洛東

京都洛東

王寺

王寺



王寺

京都北東

京都北東